

「いま、 貧困を考える」

講演者 生田 武志 氏 (いくた たけし)

「1986年から釜ヶ崎を中心に野宿者支援活動を続けてきましたが、最近、仕事と部屋を失った20代、30代の人からの相談、子どものいる母子の野宿の相談などにもあたっています。日本社会の構造的変容の中で、それまで普通の生活を送ってきた多くの人々が貧困や野宿を強いられています。そして貧困は、経済的な問題だけでなく、社会とのつながりが失われる「関係の貧困」の問題でもあります。こうした貧困の問題を、特に子どもと野宿者の視点から捉えてみようと思います。」

【講演者プロフィール】

1964年生まれ。同志社大学在学中から釜ヶ崎に通い、現在までさまざまな日雇い労働運動・野宿者支援活動に携わる。『つぎ合わせの器は、ナイフで切られた果実となりえるか?』で群像新人文学賞・評論部門優秀賞（「群像」2000年6月）を受賞。現在、野宿者ネットワーク、釜ヶ崎・反失業連絡会などに参加。著書に『「野宿者襲撃」論』（人文書院）、『ルポ最底辺—不安定就労と野宿』（ちくま新書）がある。

- 日時 **5月11日** (水)
13時00分～14時30分
- 会場 甲南大学 甲友会館大ホール

問い合わせ先

5号館5階 経済コモンルーム

<http://www.eco.konan-u.ac.jp/home/gakkai/>